

知って  
おきたい

# 暮らしとお金のいろは

第32回

**Q** 銀行から低金利が続いているので、「ドル」で運用する商品を勧められました。外国の通貨で運用するのは少し心配です。ドルで運用する時の注意点などを教えてください。

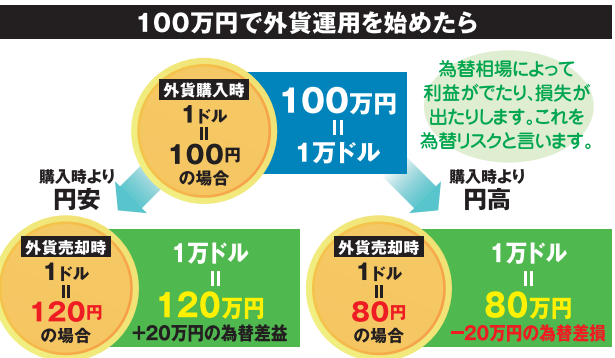
(60代女性)

**A** 外貨で運用する時は、金利のみを重視するのではなく、為替リスクや手数料なども総合して判断することが重要です。

数年前までは、資産運用において日本円かつ貯蓄性が高い商品が存在しましたが、現在は低金利の影響で安定的に増やせる金融商品は、ほぼ無くなっています。そのような中で注目されているのが、アメリカの「米ドル」やオーストラリアの「豪ドル」などの「外貨運用商品」です。

外貨商品は金利が高めに設定されていますが、「為替リスク」を考える必要があります。例えば、米ドルを購入した場合、円に交換するときに「円安」であれば為替差益(利益)が出ますが、逆に「円高」になった場合は為替差損(損失)が出ます。また、ドルを円に、円をドルに替えた場合には為替手数料が発生します。(銀行などでは「ドルにつき1円程度の手数料がかかる」)

一時金と分割(積立)で購入する方法もありますが、基本は平均購入単価を抑える効果を期待できる分割(積立)タイプをお勧めします。さまざまな世界情勢の中、「日本円」安心」は顕在ではありませんが、「日本円」殖やす」とはなりにくい時代です。通貨の信用力に加味して「外貨資産」を保有することも、将来に向けた「資産防衛」には必要になります。その際には目先の金利だけに左右されず、総合的にかかる「コスト」も意識するようにしましょう。



2017年10月現在の税制・税率に基づき作成しています。税制・税率は将来変更されることがありますのでご注意ください。また、個別の税務に関する取り扱いは、税理士または所轄の税務署にご確認ください。

協力募集代理店(有)ファミリーライフクラモチ 大森 健一さん

独立系FP事務所(有)ファミリーライフクラモチ所屬。AFP・住宅

ローンアドバイザーの資格を活用し、セミナー講師・個別相談等を実施。

募集代理店(有)ファミリーライフクラモチ 土浦市永国997の1 ☎0120・123000

